



2021年度講師派遣事業 SDGsプログラム 講演 テーマ一覧

下記のテーマの中からお選びいただけます。各テーマの詳細（個別の内容ページ）については本学ホームページ（www.toyo.ac.jp/s/haken/）に掲載しております。お申し込みの際は必ず事前にご確認ください。

SDGs (持続可能な開発目標)とは

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



小 小学校 中 中学校 高 高等学校 特 特別支援学校

テーマNo	対象	テーマ名/SDGs (17のゴール)	講師名/所属	概要
1	小 ※	遊びながら、考えよう！ ～障がい理解への扉～ 3 4 10	嶋崎 博嗣 ライフデザイン学部	音当てクイズ・触って当てようクイズ、DVD視聴（講演者ら作成：幼児の障がい理解のための運動遊び教材）などを手掛かりにして、横断歩道の音響信号や点字ブロックの意味を考えます。また、目をつぶった遊びや脚を使わない遊びを展開し、その中で感じた身体感覚を手掛かりにして障がいや共生について考えていきます。 ※幼児（5歳児）～小学校2年生まで
2	小 中 高	子どもの貧困 1	南野奈津子 ライフデザイン学部	日本でも子どもの貧困問題が深刻ですが、一方で様々な地域での取り組みも行われています。それらを紹介しつつ、私達ができることを考えましょう。
3	小 中 高	植物の研究で食糧問題に挑戦する 2	廣津 直樹 生命科学部	地球の人口は増え続けており、2050年には90億人を突破すると予想されています。人口増加に見合う食糧生産を今後も維持し続けることはできるのでしょうか？ また、今後地球環境が変動する中で、私たちは植物の恵みを受け続けることはできるのでしょうか？ 植物を研究することは、食糧問題や環境問題など、私たち人類の未来を左右する問題に対応するために必要不可欠です。グローバルな視点で食糧問題を捉え、植物研究の一端を紹介します。
4	小 中 高	食べ物の好き嫌いはなぜ生じるのか？ 2 3	大瀬良知子 食環境科学部	好き嫌いは視覚や味覚、心理的な要因が絡み合って生じています。一つの例として、新しい食べ物を食べる時には、食べてみたい欲求と毒があるかもしれないから食べない方がよいという2つの葛藤により、食べるか、食べないかという選択が生じます。これらのメカニズムを理解して、学校の給食が楽しく美味しく食べられるようになってほしいと思っています。

7-7No	対象	テーマ名/SDGs (17のゴール)	講師名/所属	概要
5	小 中 高	宗教文化を学んで日本と世界の人々についての理解を深めよう 3 4 10	高橋 典史 社会学部	現在、多くの国々から観光・留学・仕事などのために、たくさんの人々が日本にやって来ています。日本とは異なる文化を背景に持つ人びとの暮らしや考え方を理解するためには、キリスト教・イスラーム・仏教など、各地の宗教文化について知ることがとても大切です。一方、私たちの暮らす日本について、こうした人々に説明するためには、神道・仏教などに関わる伝統行事や習慣の知識が不可欠です。この講義では、異文化理解や多文化共生に役立てもらうための、日本と世界の多様な宗教文化について学んでもらいます。
6	小 中 高	外国人とともにいきる 3 10 16	南野奈津子 ライフデザイン学部	日本の外国ルーツの子どもや外国人家族、労働者等の実情を知り、今後多様な国籍や文化の人々と共に生きることの大切さやそのためにできることを学びます。
7	小 中 高	世界の病院 3 10	岡本 和彦 理工学部	病院を見れば、その国の生活環境や健康政策が見えてきます。なぜならば、病気はそこに暮らす人間を取り巻く食事や生活環境に大きな影響を受けており、また、それを治す医療も国ごとに技術や保険制度が異なるためです。本講義では、病院建築の形だけでなく患者やスタッフの生活を観察することで、各国の健康文化について考えます。
8	小 中 高	モバイル・ホスピタル 3 10	岡本 和彦 理工学部	モバイル・ホスピタルとは、医療機器やスタッフを積んでサービスを求める人のもとに出向く移動病院のことです。被災地や過疎地など、病院を建てられない地域ほど医療サービスのニーズは高く、この矛盾を解決するため、世界には様々なモバイル・ホスピタルが存在しています。事例紹介を通じて、建築に頼らない、より効果的な医療サービスの提供ができないかを考えます。
9	小 中 高	植物という生き方 13	廣津 直樹 生命科学部	植物は、動けないながらも、刻々と変化する環境に応じて生命を維持する能力をもっています。植物の生き方を知ると、植物は「動けない」のではなく「あえて動かない」という、私たち動物とは違った生き方を選択したことが見えてきます。地球上のあらゆる環境に適応した植物の生き方を紹介し、その驚くべき能力を紹介します。
10	小 中 高 教	日本で生活している難民 1 10 16	荻野 剛史 社会学部	1975年以降日本にも難民が生活しています。彼らは、日本で安心感や楽しさを感じながら生活していますが、その一方で、さまざまな生活のしづらさを抱えていることもまた事実です。本講義では、インドシナ難民を題材として、日本で生活している難民の生活の様子などについてお話します。
11	小 中 高 教	アマゾンで燃えてしまったものは何？ 1 3 4 10 11 13 15	紀 葉子 社会学部	アマゾン川流域の大規模火災によって失われたのは熱帯雨林が排出する二酸化炭素だけではありません。そもそもなぜアマゾン川流域の豊かな熱帯雨林が燃えてしまったのでしょうか？ その答えの一つは身近な私たちの食卓にのぼるメニューにあります。牛肉のステーキや納豆はお好きですか？ 放牧地や大規模農場を造るために犠牲を強いられている人々の暮らしについて学びましょう。
12	小 中 高 教	ブラジルのこどもはみんなサッカーが上手なんて、嘘だから 1 3 4 10 16	紀 葉子 社会学部	日本から見たブラジルのイメージはサッカーとコーヒーとカーニバルで、ブラジルのこどもはサッカーボールを蹴りながら生まれてくるという人さえいます。でも、本当のところ、どうなのでしょう？ 日本人のみんながみんな空手の達人でもなければ日舞が踊れるわけでもないように、こうしたステレオタイプは真の相互理解の妨げになってしまいうことを学びましょう。
13	小 中 高 教	ブラジルのシンデレラたち 1 3 4 5 10 16	紀 葉子 社会学部	ブラジルで最も女性に開かれている仕事のひとつに掃除があります。貧しい地域として知られる東北部から賃金を求めて多くの女性たちが南の都市部へと流入してきます。そうした女性たちはブラジル語で花を意味するファベールと呼ばれる居住区を形成して中産階級の家で掃除の仕事をします。現代の「灰被り」ともいえる彼女たちの未来について一緒に考えましょう。
14	小 中 高 教	健康診断は誰のため？ 3	内山 有子 ライフデザイン学部	日本の学校では、年に1回、健康診断を受診することが法律で定められています。しかし、世界の国々では健康診断は個人で受診するものであり、学校で義務として行っている国は多くはありません。いつから、そしてどうして日本では学校で健康診断を行うようになったのでしょうか？ 学校健診は日本人の健康にどのような影響を与えているのでしょうか？ 一緒に考えてみませんか？

テーマNo	対象	テーマ名/SDGs (17のゴール)	講師名/所属	概要
15	小 中 高 教	運動と身体：運動により 身体はどう変わるのか？ 3	小河 繁彦 理工学部	スポーツ選手は、競技能力を向上させるために運動トレーニングを行いますが、高齢者や疾患者においても、健康のために運動を行うことが推奨されています。人間は、様々な身体のシステム(生理機能)を持っていますが、環境変化によりそのシステムは変化し、悪い場合は、病気になります。本講演では、運動により身体がどの様に影響を受け変化するのか、スポーツ競技力だけでなく健康増進の観点から説明します。
16	小 中 高 教	食と身体：食事により 身体はどう変わるのか？ 3	小河 繁彦 理工学部	近年、肥満の人が増えています。肥満は、見た目だけでなく、病気を起こす大きなリスクでもあります。この肥満を解消、もしくは予防する為の大きな要因として食事があげられます。食事がどの様に身体のシステム(生理機能)に影響するのか、また何故肥満になるのか、本講演では、食事による身体の影響から詳しく解説します。
17	小 中 高 教	最新の自立支援介護！ 元気を取り戻す科学的 介護の実際 3	古川 和稔 ライフデザイン学部	歩けなかった高齢者が再び歩けるように！ 寝たきりだった高齢者が自力でお寿司を食べられるように！ 介護福祉実践現場は、日々進化しています。このような自立支援介護を実践しているのは、高度な知識と技術をもった専門性の高い介護福祉士です。この講座では、理学療法士、介護福祉士、社会福祉士の資格と経験をもつ講師が、動画や写真で実践例を紹介しながら、科学的介護について分かりやすく解説します。
18	小 中 高 教	運動の面白さって 誰のもの？ 3 4 17	高橋 珠実 食環境科学部	運動は好き？ 嫌い？ それはなぜ？ 運動嫌いさんの意見から運動の新たなおもしろさ、奥深さを見つけしていきます。運動好きさん、運動のおもしろさを伝えてみませんか？ おもしろさを伝えようとする、きっともっと運動がおもしろくなる。運動嫌いさんも運動好きさんも一緒に運動のおもしろさについて考えたら、たくさんの発見がある。それが大人になってからもずっと健康でいるために大切なこと。みんなの力ですべての人がおもしろい！ と感じる運動の時間を作ります。
19	小 中 高 教	ロシア語圏移住者でみる 在留外国人コミュニティ 3 4 5 8 10 16	ゴロウイナ・ クセーニヤ 社会学部	現在、290万人以上の在留外国人が日本で生活しています。本講演では、在留外国人を「生活者」として捉えて彼・彼女らの日常に注目し、事例として在日ロシア語圏移住者を用い、在留外国人の衣食住やコミュニティ実践、教育、就労について取り上げます。また、移住者コミュニティとは何かという問いを立て、多文化共生の考え方を背景に社会のあり様を考えます。
20	小 中 高 教	外国にルーツのある児童 と言語教育 3 4 10 16	ゴロウイナ・ クセーニヤ 社会学部	日本では、外国にルーツのある多くの子どもたちが生活しています。その中には、母語として日本語以外の言葉を身につけてきた子どもたちが少なくありません。本講演では母語や母国語、継承語、外国語等とは何かについて触れながら、外国にルーツのある子どもたちへの日本語教育、そして多言語の知識をどのように活かすかについて考えます。最後に、多様な言語を尊重した多文化共生社会のビジョンを受講生の皆様と描いていきます。
21	小 中 高 教	開発途上国の 環境衛生 3 6	北脇 秀敏 国際学部	途上国では、劣悪な衛生状態のため、さまざまな健康上の被害が引き起こされます。講演ではその実態と解決策とを解説します。日本に在住している人には想像できないような現状に触れることにより途上国でわれわれが何をしなければならぬかを考えます。講義では視聴覚教材を使用し、途上国の現状をわかりやすく解説します。
22	小 中 高 教	開発途上国の 環境問題 3 6	北脇 秀敏 国際学部	世界の途上国の多くは生活環境の悪化、公害問題、地球環境の3つの環境問題に同時に直面しています。それらを概観し、特に生活環境の面から途上国の人々の健康と生活を考えてみたいと思います。講義では途上国の環境問題の現状についての理解を深めるため多くの視聴覚情報を使用します。
23	小 中 高 教	開発途上国協力を 目指す人へ 3 6	北脇 秀敏 国際学部	演者の環境管理分野における途上国協力の経験をふまえて講演を行います。ODA、NGO、国際機関等での経験を持つ講師が途上国でどのような活動が行われているかを体験を踏まえて解説し、将来国際協力を目指す生徒がどのようなキャリアを身につける必要があるかを論じます。
24	小 中 高 教	ダイバーシティとは：皆 が楽しく過ごせる社会を 作りましょう 5 10	加藤千恵子 総合情報学部	ダイバーシティとは多様性を受け入れるということです。年齢、性別、国籍などだけではなく、障がい、宗教や価値観、働き方など広い範囲で誰も何に対しても差別を受けないということが大切です。そして誰もが心地よく幸せに暮らしていける社会を実現していけるようにするためにはどうしたら良いかを考えていく機会になればと思います。

テーマNo	対象	テーマ名/SDGs (17のゴール)	講師名/所属	概要
25	小 中 高 教	EUの気候変動・エネルギー政策 7 13	市川 顕 国際学部	私たちの社会は、これからどのようなエネルギーによって支えられていくべきなのでしょう。この講演では、EUにおける気候変動問題およびエネルギー問題を取り上げ、日本の気候変動・エネルギー問題を考える指針とします。
26	小 中 高 教	パリ協定って何？ 7 14	市川 顕 国際学部	気候変動に関するパリ協定では、2050年までにカーボン・ニュートラルな世界を実現しようとしています。この講演では、みなさんが日本のリーダーとして活躍する頃までに、どのように社会を変えていく必要があるか考えます。
27	小 中 高 教	日本人の働き方はこれからどうなるのか 8	久米 功一 経済学部	これまで日本のほとんどの大人が、ひとつの会社に雇われて働いてきました。しかし、この「雇われて働く」という前提が変わりつつあります。いわゆるフリーランス、あるいは、副業・複業を行う人が出てきました。私たち日本人の働き方はこれからどうなるのか、一緒に考えていきましょう。
28	小 中 高 教	未来の仕事ー新しいテクノロジーとともに働く 8	久米 功一 経済学部	人工知能などのテクノロジーの発展により、人間と機械の関わり方が変わってきました。知的機械の登場によって、雇用が失われるという議論もあります。では、こうした知的機械と人間はどう付き合っていけばよいのでしょうか。テクノロジーを概観して、これから求められる働き方や仕事について考えます。
29	小 中 高 教	どうしてもやっつけてしまう、どうしてもやめられないー非合理的な行動について考えよう 8	久米 功一 経済学部	危ないことに手を出してしまう、やらなければならないことを先送りする、ーこうした合理的でない行動をとったことがあるでしょう。こうした非合理的な行動は、人びとにどんな結果をもたらすのでしょうか。行動経済学の知見を紹介しながら、私たちは非合理性とどう付き合っていけばよいかを考えます。
30	小 中 高 教	共に生きる社会について考える 10	中挾知延子 国際観光学部	この地球上にはいろいろな人がくらしています。町を歩いていると、外国人の家族が散歩していたり、知らない言葉を聞いたりしたことはありませんか？ ひとつの町に住むあなたもその人たちも同じ市民です。これからますます増えていくこのような社会でどのようにしたら仲良くしていけるのか考えるために、文化の違いとコミュニケーションについて学んでみましょう。
31	小 中 高 教	世界のまちのバリアフリー 10 11	菅原麻衣子 ライフデザイン学部	日本の点字ブロックといえば黄色であることがほとんどですが、他の国々に行くとき黒や白や赤など、形やデザインも異なるものが見られます。それはどうして違うのか、点字ブロックに加えて、海外のトイレ、段差解消機、バス等のデザインも紹介しながら、児童生徒さんと一緒に「なぜ違う？」を紐解いていきます。そして、誰もが暮らしやすい社会環境とするために、日本が他の国から学ぶべきこと、日本が他の国に伝えられること、他の国と一緒に取組めることを考えます。
32	小 中 高 教	地方創生ってなに？ 11	市川 顕 国際学部	現在日本では、人口減少および少子高齢化などの問題を背景として、様々な地方自治体が地方創生の取り組みをしています。では、どのようにしたらまちは元気になるのでしょうか。政治・経済・社会の観点から総合的に考えてみましょう。
33	小 中 高 教	この地球にさまざまな生きものがいること 15	金子 有子 文学部	この地球にはまだ知らないさまざまな生きものたちがいることをワクワクと心おどるよう紹介します。あわせて、なぜそんなにさまざまな生きものがいるのか、さまざまな生きものがいることの意味を説明します。それは、自分自身、私たち一人一人が唯一無二の存在であることへの理解にも通じます。そして、私たちはそうした生きもの多様性を受け止めて、一人一人がどう感じるか、どう向き合っていきたいか、そのためにどうしたらいいか、一緒に考え、そして一人一人が考えていくきっかけになるようなお話しをします。
34	小 中 高 教	みんなで参加して共生するために 17	市川 顕 国際学部	私たちの社会は、民主主義の理念のもと、代表と参加の二つの車輪によって動いています。しかし近年、行政・経済主体・市民がそれぞれの垣根を越えて、「公」的活動を行うようになってきました。このことをガバナンスといいます。では、どのようにしたら、みんなが参加し、みんなで共生し、多様性を認め合う社会が作れるのでしょうか。一緒に考えてみたいと思います。

7-7No	対象	テーマ名/SDGs (17のゴール)	講師名/所属	概 要
35	小 中 高 ※	身近な環境問題「光害」を考えよう 11 13 15	越智 信彰 経営学部	都市化が進んだ日本では、7割の人が普段住む場所から天の川を見ることができない、との研究結果が報道されました。暗いはずの夜に、私たちは大量の人工光を灯し、街には過剰な光があふれています。夜が明るくなると、人間は便利で快適に過ごせますが、一方で生態系やエネルギーの面から見ると、様々な悪影響があることが知られています。この「光害」の問題を通して、地球環境、生態系、人間社会の関わりを考えてみましょう。 ※小学校は5・6年生のみ実施可能。特別支援学校は特別な配慮をせず、通常の講演であれば実施可能。
36	中	「障がい者スポーツ」を通して「コミュニケーション」や「会話」を考えてみよう 3 10	金子 元彦 ライフデザイン学部	障がい者スポーツは視覚や聴覚などに障がいのある人がプレーをします。視覚を失うと…？ プレイヤーと私たちがコーチとして、ボランティアとして関わる時には、どうしたら彼らのことが少しはわかるだろう？ どう言ったら伝わるだろう？ とさまざまなことを考えます。五感とは？ 言葉とは？ スマホでできること、対面でなくてはできないことは？ 「障がい者スポーツ」を通して「人・ヒト」や「コミュニケーション」を考えてみましょう。
37	中 高	瓶型ものづくりと 缶型ものづくり 12	内田 祥士 ライフデザイン学部	ビールや清涼飲料水の容器としての瓶と缶の相違をわかりやすく説明しつつ、容器をつくる責任とつかう責任について具体的に説明、児童・生徒がリターナブルとリサイクルの相違について考える契機を提供し、ものづくりについて考えます。
38	中 高	食にみる持続可能な開発 1 3 8 10 13	徳江順一郎 国際観光学部	われわれが生きていくのに、食は欠かせません。でも、普段なにげなく口にしていいる食材は、環境の観点からは本当に問題ないのでしょうか。現代の、特に日本の食は、非常にいびつな状況となってしまっています。なぜそうなったのか、そして、われわれはどうすべきなのか、考えたいと思います。
39	中 高	エコロジー・リゾートを通じた観光振興 1 3 8 10 13	徳江順一郎 国際観光学部	リゾートといえば、環境破壊につながりそうなイメージを持つ方もいらっしゃるかもしれませんが、逆にリゾートのおかげで環境保全に成功している事例が、世界中には存在します。わが国でも、同様の試みが最近ではなされるようになってきつつあります。こうした事例を通じて、持続的な観光の振興をいかに図っていくかを考えます。
40	中 高	多文化共生と教育 1 4	芦沢 真五 国際学部	国内にある外国人コミュニティに目を向け、多文化共生における課題、とりわけ教育の意義について考えます。私のゼミでは浜松にある日系ブラジル人・ペルー人学校で夏合宿をおこなっていますが、どうして日本に定住外国人が増え続けているのか、背景や課題について学び、議論します。生徒には日本がますます多文化社会になっていく現状について認識を深め、定住外国人と共に学ぶことの意義を考える機会を提供します。
41	中 高	ブラジル・アマゾンにおけるアグロフォレストリー 1 8 13 15	小林 正夫 社会学部	アマゾンの森林破壊は、エネルギー・資源の自給を目指しフロンティア開拓を進める連邦政府の思惑があります。一方で、アマゾン原住民のインディオや欧米・アジア等からの入植者は、住み続けるための持続的な環境利用に知恵を絞ってきました。長時間の講義ではその多様性を、短時間の講義ではそのうちから日系移民の村が発祥のアマゾン版の「アグロフォレストリー」（熱帯型植生と経済性の両立を目指す試み）について、現地映像も交えて紹介します。
42	中 高	ネパール山間地域の課題： 森林再生と人口維持にむけて 1 11 13 15	小林 正夫 社会学部	ネパールの中山間地域は、耕して天に至る段々畑の景観が見られますが、急速な人口増による森林破壊により土壌保全などの環境問題を生んでいます。さらに、2000年代以降、若年層を中心に都市や外国への人口流出・過疎化がおきて、地域の環境をだれがどのように保全するのが問われています。伝統的な暮らしが本来保持していた持続性（環境利用の知恵）の喪失プロセスと、農山村の所得向上・持続性回復の可能性と課題について紹介します。
43	中 高	ウイルスと戦う免疫の 仕組み 3	加藤 和則 理工学部	インフルエンザウイルスやコロナウイルスなどの病気をもたらす外来微生物から身体を守ってくれる免疫の仕組みを、担当している細胞や防御分子の働きについて、動画やイラストを使いながら分かりやすく説明します。またその免疫の力に影響を及ぼす生活習慣についても説明します。
44	中 高	思考力、論理力を鍛える 3 4 5 10 16	北村 英哉 社会学部	論理力は自分の得になります。それだけでなく、世界の平和や人のためになります。ネットの誤った情報に惑わされないで、正しい情報を見極め、自身の思考を鍛えていく筋道と重要性を説明します。

テーマNo	対象	テーマ名/SDGs (17のゴール)	講師名/所属	概要
45	中高	数値の正しい理解と コロナ対策 3 4 11	小山 信也 理工学部	新型コロナウイルス感染症対策の報道に登場する様々な数値を、数学的に正しく理解し、正しいコロナ対策に役立てます。本講演は、2020年7月31日に東洋大学の新型コロナウイルス感染症対策委員会と高等教育推進センターの共催で、全教職員を対象に学長室よりオンライン配信され、好評を博した講演を再構成したものです。
46	中高	新型コロナ問題にまつわる 差別や偏見などについて 3 5 8 10 16 17	北村 英哉 社会学部	医療関係者への差別や罹患者に対する差別のしくみを心理学の視点からわかりやすく語り、日常のよりよき友人関係、交流に生かすように役立てる。
47	中高	偏見、あるいはアンコン シャスバイアス、男女平 等について考える 3 5 8 10 16 17	北村 英哉 社会学部	多様性の高くなる未来社会を生きていくための心得。女子の理科領域（STEM）への比率を高める重要性、理数の食わず嫌いや興味の隠蔽などを説明します。誰もが自由に好きなことに遠慮なく取り組み、互いに評価をしい、足を引っ張らない社会関係のあり方の重要性を説明します。
48	中高	大学で学ぶことを 経済学で考える 4 8	川上 淳之 経済学部	初歩的な経済学の知識とともに、大学に進学した時としない時で将来の選択にどのような違いがあるかを伝えます。また、なぜ大学に賃金を引き上げる効果があるのか、3つの仮説について紹介します。
49	中高	国連・女性差別撤廃条約 と日本 5	今井 雅子 法学部	国連の女性差別撤廃条約が1979年に採択されてから40年が経ちました。ジェンダー平等は進んだでしょうか。1985年に条約を批准した日本の状況はどうでしょうか。世界経済フォーラムが2019年に発表したジェンダーギャップ指数において、日本は前年の110位から順位を下げて153か国中121位でした。特に政治と経済の部門で男女の格差は顕著です。女性差別撤廃条約のもとで日本がどのような取組みをしているか、さらに何をなすべきかを考えてゆきたいと思います。
50	中高	すべての人がきれいな 環境で暮らすためには 6 11	荒巻 俊也 国際学部	ごみや生活排水など人々の暮らしから出るものが生活環境を汚染している現状を学び、特に途上国の生活環境保全にむけて何が課題となっているかを考えます。
51	中高	賢く飛ぶーよりクリー ンで持続可能な航空旅行 を目指してー 7 13	野村 尚司 国際観光学部	飛行機が発明されて約120年。この間、その性能は飛躍的に向上し多くの人・モノをより遠くまで運べるようになりました。他方、燃料消費量とCO ₂ 排出量は莫大となり削減が求められています。近年見かけるようになった格安航空会社（LCC）は既存航空会社より安く旅行できることが知られていますが、実は「環境にやさしい」面も持ち合わせているのです。今回はLCCが持つよりグリーンで環境にやさしい側面について理解を深めます。
52	中高	個人信用情報から学ぶ 金融リテラシー 8	根岸 謙 法学部	スマホを分割払いで購入したり、クレジットカードを作ったり、車や住宅のローンを組んだりする際、お店側は必ず私たちの「個人信用情報」をチェックします。これらの金融取引で不払いを起こすと、個人信用情報に傷がつき（いわゆるブラックリストに載る）、以後5年間は金融取引を利用することができなくなります。本講演では、この個人信用情報を通して、誰もがかわる金融取引についての実践的な法的知識をお話しします。
53	中高	高校卒業後に待っている 成年者としての世界 8	根岸 謙 法学部	2022年4月から成年年齢が18歳に引き下げられます。テレビや新聞などでは選挙権の獲得等でしか取り上げられていませんが、日常生活の中で考えてみると、これまで未成年者という盾のもと保護されていたものの、これからはそのような保護がない中で、車や不動産の売買契約や一人暮らしをするにあたっての賃貸借契約、それから数百万円、数千万円の融資契約などを一人で行うことができるようになります。本講演では、日常生活の法律である民法において、成年者は未成年者とどう異なるのか、そして契約等をする際、成年者としてどのようなことに注意した方がよいかについてお話しします。
54	中高	消費者法から学ぶ 消費者リテラシー 8	根岸 謙 法学部	スマホの普及と情報通信技術の発展により、私たちは様々なサービスを受けられるようになりました。本来高額であるはずのスマホを毎月割安で使うことができ、そのスマホを用いて膨大な楽曲をサブスクで聴いたり、ゲームアプリに課金したり、ネット通販やオークションサイトで気軽に服を購入することもできます。しかし、このような気軽さを逆にとり、利用者に無駄な支出をさせたり、危害を加える業者もこの世界には暗躍しています。本講演では、そのようないわゆる悪徳業者との消費者契約等を市場から排除して、消費者の権利・利益を保護しようとしている消費者法（消費者契約法、特定商取引法等）について、利用者からの目線から説明していきます。

テーマNo	対象	テーマ名/SDGs (17のゴール)	講師名/所属	概要
55	中高	お金を借りて返せなくなったらどうする？ 一夜逃げか破産かー 8 10	櫻本 正樹 法学部	消費者金融等の金融機関から金銭を借りた場合や保証人になった場合で、金銭が返せないときや払えないときに日本人は最終的に自殺を選ぶ人が少なくありません。しかし、法律ではこのような場合にでも多くの救済手段があり、裁判所で破産免責をもらうともはやその借金を返す責任が無くなります。社会人になってこのことを知っているか、知らないかで大きな違いがあるので支払不能の場合の解決方法についてお話しします。
56	中高	ダイバシティと日本社会 10	井沢 泰樹 社会学部	日本社会は近年、外国人の人口が増加しています。それともなあって、これまでの社会のありかたや「当然のこと」として共有されてきた価値観が「当然のこと」としては通用しない状況が出てきています。また、本人にはどうしようもできない「属性」(性別や出身地や障がいなど)によってさまざまな機会から排除される事象もいまだに多く見うけられます。本講座では日本社会における「人権」「共生」「ダイバシティ」について考えていきたいとおもいます。
57	中高	哲学カフェ：ロボットと暮らす世界を考える 10 11 12 16 17	松浦 和也 文学部	囲碁、将棋のAIや、自動運転車といったがロボットが頻繁に報道されています。そうしたロボットと暮らす社会は本当に幸せな世界でしょうか。そこまで迫っているようで、その実態はまだ見えない将来の社会を不幸なものにしないためには、今ここで私たちが発言していくことが求められています。これからの未来を哲学者と一緒に考えてみませんか。
58	中高	世界の格差と私たちの生活 10 12	井沢 泰樹 社会学部	北半球温帯地域にはアメリカ、ヨーロッパ諸国、日本といった豊かで発展した先進国が多く存在します。それに対し、低緯度地域や南半球にあるアフリカ、東南アジア、南アジア、南アメリカといった地域には、発展途上国と呼ばれる国々がたくさんあります。このおおよそ北と南に分かれている経済的、政治的な格差のことを、南北問題と呼びます。途上国の貧困の問題は、先進国の人びとにとって、「それはあの人たちの問題」と考えられがちですが、しかしそうではなく、途上国の人びとの問題は先進国の人びとの生活のあり方によって発生しているという現実があります。先進国である日本で暮らす私たちは自分たちの生活を見つめなおして、世界の格差と不平等の問題を考えていかなければなりません。
59	中高	電線を考える 11	内田 祥士 ライフデザイン学部	路上の電線は、目に見える都市インフラの一つです。これを観察し、その姿と意味を考えることで、電線の現実と可能性を平易に説明しつつ、有電柱システムと無電柱システムについて考え、児童・生徒が都市インフラに触れる契機を提供し、まちづくりについて考えます。
60	中高	観光とボランティア 11	中挾知延子 国際観光学部	観光しながらどうしてボランティアなのでしょう？ 現在さまざまな観光の形が生まれてきています。そのひとつである「連帯ツーリズム」について、南イタリアの小さな村の例から学びます。
61	中高	持続可能な文化ツーリズム 11	中挾知延子 国際観光学部	多くの人々が観光地へ大型バスで押し寄せて、自分たちの満足だけを求め、その地域の人々の文化を台無しにしていく観光は果たしていいのでしょうか？訪れた人とその地域住民のどちらも満足できる持続可能な文化ツーリズムについて学びます。
62	中高	考える力をつける学習 16	北村 英哉 社会学部	グローバル社会で生きるにはさらに積極的に自分で考え、意見表明する力が求められる。その重要性といかに考える力を身につけるかを講演する。
63	中高	「自己中」なボランティアのすすめ 17	須田木綿子 社会学部	近年、自分探しのためや、自分の利益のためにボランティア活動に参加する人々が増えています。そのような参加の仕方が、本来の「ボランティア」な活動です。自分が本気で生きようとしたときに他者が必要であることにやがて気づくでしょうが、初めの一步は自分のためが良いのだということをお伝えしたいと思います。
64	中高 教	人工知能と人間社会 9 12	佐野 崇 情報連携学部	人工知能の飛躍的進展は、みなさんもよくご存知だと思います。人工知能によって、人間の仕事が奪われるのではないかと危惧する人もいます。この講演では、近年の人工知能研究を紹介し、それが社会をどう変えたのか、そして変えなかったのかを説明します。それを踏まえて、人工知能の得意なことや苦手なことを知り、人工知能と上手に付き合っていくにはどうすれば良いかを考えていきたいと思えます。
65	高	健康を守ってくれている身近な医療機器とは 3	加藤 和則 理工学部	現代の医療を支えている高度な医療機器から、私たちの身の回りに身近にある様々な医療機器・器具について、医学的だけでなく工学的、化学的な観点から分かりやすく説明します。

テーマNo	対象	テーマ名/SDGs (17のゴール)	講師名/所属	概要
66	高	食と健康 —食生活からの健康な人生— 3	高鶴 裕介 食環境科学部	健康栄養学科等で講義している食と健康にまつわる内容を要約して提供。食生活からみた健康管理と食に関連する疾患について概説する。これにより、食を通じた生涯の健康維持について学んでもらう。
67	高	運動効果は、なぜ筋肉だけでなく体全体にあらわれるのか？ 3	根建 拓 生命科学部	運動による骨格筋の肥大や代謝能亢進は、生活習慣病予防に効果的であることが分かってきています。一方、運動をすることで、骨格筋のみならず他の組織・臓器・器官にも様々な良好な影響が出現しますが、その仕組みについてはまだ不明な点が多く残されています。これまで分かっているようで分かっていなかった「なぜ運動は体にいいのか」について、最新の知見を紹介します。
68	高	「障がい者スポーツ」を通して「人・ヒト」や「コミュニケーション」を考えてみよう 3 10	金子 元彦 ライフデザイン学部	障がい者スポーツは視覚や聴覚などに障がいのある人がプレーをします。視覚を失うと…？ プレイヤーと私たちがコーチとして、ボランティアとして関わるときには、さまざまな形でコミュニケーションを取ります。すると、人・ヒトって？ 五感とは？ 言葉とは？ LINEでできること、対面でなくてはできないことは？ …さまざまなことへと広がっていきます。「障がい者スポーツ」を通して「人・ヒト」や「コミュニケーション」を考えてみましょう。
69	高	微分・積分と物理学 4	本橋 健次 理工学部	2つの量がお互いにある関係をもって変化するとき、微分や積分を用いるとその変化量を簡単に求めることができます。物理学では物体の位置や速度などの物理量が時間と共にどう変化するかを考えるので、微分・積分が大変役立ちます。高校の物理では微積分を用いた内容は正規の学習に含まれませんが、大学ではそれらが中心になります。微積分を用いると、高校で紹介される様々な物理公式を極めて単純な一つの式（ニュートンの第2法則）から導き出すことができます。本講演では、数学ⅡBまでの微積分を習っている方を対象に、大学での物理学の一端をご紹介します。
70	高	糖進化から生命進化を垣間見る 4	宮西 伸光 食環境科学部	本講演では、「糖とは何か」について学問的に追究することを目的とし、糖・糖鎖を網羅的に分析評価するグリコーム研究について、その考え方や重要性について紹介します。生物の糖・糖鎖の構造を解析し、生理状態、環境変異、生物の多様性と糖・糖鎖情報の関係を話し、生命における糖の真の役割について知識を深めて行きます。
71	高	働きやすい会社はどこ？ 「女性活躍推進企業データベース」を使おう 5	村尾祐美子 社会学部	先進諸国の中でも経済面での男女間格差が大きく、社会や会社における「女性が働きにくいしくみ」を変えていく必要が指摘されている日本。本講演では、「女性活躍推進企業データベース」を使って、企業の公開データの面から「働きやすい会社」を探します。たくさんの方が「女性が働きやすい会社」を選び、「女性にとっての働きやすさ」の視点から会社を比較していることが明らかになれば、それは単なる個人の情報収集活動をこえて、会社や社会に変化を促す大きな力になりえます。
72	高	細胞社会のコミュニケーション 17	根建 拓 生命科学部	動物の体は数十兆個の細胞から成り立っていますが、細胞同士は密接にコミュニケーションを取ることで、動物の中で細胞社会を成り立たせています。細胞たちはどのようなコミュニケーションとりながら、細胞社会を平和に保っているのでしょうか。人間社会は約80億人の人々から成り立っていますが、私たちが平和な社会を作るためのヒントが隠されているかもしれません。
73	高	なぜストレスはあるのか？ なぜ病気はあるのか？ 17	根建 拓 生命科学部	近年、「社会の複雑化に伴って増加するストレスをいかに軽減するか」についての関心が高まっています。では、どうして体の中でストレスが発生してしまうのでしょうか？ またストレスは悪いものと一概に言ってしまっても良いのでしょうか？ 本講義では、一般的に「無くなった方が良いもの」と思われている「ストレス」と「病気」を取り上げ、それらがなぜ存在しているのか一緒に考えてみたいと思います。

お問い合わせ

東洋大学 社会貢献センター (エクステンション課)

www.toyo.ac.jp/s/haken/

〒113-0021

東京都文京区本駒込1-10-2 東洋大学 南水会館 1階

TEL 03-3945-7637 (平日 9:30~13:00・14:00~17:00)